平成25年９月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年２月12日

上 場 会 社 名	株式会社イメージ ワン	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	2667	URL	http://www.imageone.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	高田　康廣
問合せ先責任者	（役職名） 取締役財務経理部長	（氏名）	野村　真一
四半期報告書提出予定日	平成25年２月13日	配当支払開始予定日	—

(TEL) 03-5908-2800

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年９月期第１四半期の業績（平成24年10月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年９月期第１四半期	162	△56.5	△86	—	△90	—	△91	—
24年９月期第１四半期	373	—	△52	—	△64	—	△65	—

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年９月期第１四半期	△2,653.43	—
24年９月期第１四半期	△1,900.26	—

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年９月期第１四半期	717	300	41.9
24年９月期	880	381	43.3

（参考）　自己資本　　25年９月期第１四半期　　300百万円　　24年９月期　　381百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年９月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年９月期	—				
25年９月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年９月期の業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,800	2.9	70	—	55	—	50	—	1,450.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

第２四半期累計期間における業績予想は行っておりません。
当社の事業の特性から、第２四半期累計期間の変動幅があるため、第２四半期累計期間における業績予想の発表は控えさせていただいております。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

(注)第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年９月期１Ｑ	35,211株	24年９月期	35,211株
②　期末自己株式数	25年９月期１Ｑ	745株	24年９月期	745株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年９月期１Ｑ	34,466株	24年９月期１Ｑ	34,466株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
第１四半期累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速状態が続いていることなどから、輸出や鉱工業生産が減少し、景気は一段と弱含んでおり、当面弱めに推移するとみられますが、円高是正及び新政権の経済対策による官公需等が成長率を押し上げる可能性も出てきております。

このような環境の中で、当社は『収益改革』、『営業強化』の２つを基本方針に経営基盤の改善に取り組み、①経営資源の集中によるスピード感ある事業拡大の推進、②営業人員の増員による営業体制の強化、③製造原価の低減及び経費の削減を進め、事業の拡大と収益性の向上を目指した活動を展開してまいりました。

これらの活動の結果、当第１四半期累計期間における業績は、売上高162百万円（前年同期比56.5%減）、営業損失86百万円（前年同期は52百万円の損失）、経常損失90百万円（同64百万円の損失）、四半期純損失は91百万円（同65百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

医療画像事業

医療画像事業においては、全国の中核病院及び健診施設を中心にPACS （医療画像保管・配信・表示システム）、ConnectioRIS（放射線部門情報システム）、ConnectioMeD（診療情報統合システム）、遠隔画像診断支援サービスなど、医療ITソリューション事業を展開してまいりました。

診療情報の統合管理による地域医療連携推進の本格化の流れを受け、PACS 及びConnectioMeDを中心に積極的な営業活動を進めた結果、受注は堅調に推移しておりますが、複数の中型案件のシステム構築の遅れなどにより、当第１四半期累計期間は売上高132百万円（前年同期比39.4%減）、営業損失29百万円（前年同期は1百万円の利益）となりました。

今後も引き続き、公立病院の年度末に向け、積極的な営業活動を進めてまいります。

衛星画像事業

衛星画像事業においては、『地上から宇宙まで』をテーマに、レーダ衛星を用いた衛星画像、UAV（小型無人飛行機）、携帯型分光放射計、PIV（海象監視）システムの販売、及び計測サービスなどを展開し、官公庁、大学、研究機関などに営業活動を進めてまいりましたが、前事業年度の安全保障分野での大型案件の失注などの影響もあり、当第１四半期累計期間は売上高30百万円（前年同期比80.5%減）、営業損失6百万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

今後も引き続き、中央官庁や安全保障市場への販売に注力するとともに、プロダクト事業（UAV、携帯型分光放射計、PIV、UAV専用写真測量システム）を中心に、安定した収益構造の構築に取り組んでまいります。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、464百万円（前事業年度末比26.5％減）となりました。これは、現金及び預金が91百万円、売掛金が105百万円減少したこと等によります。

固定資産は、252百万円（同2.0％増）となりました。投資有価証券が10百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、717百万円（同18.5％減）となりました。

（負債）

流動負債は、210百万円（前事業年度末比25.7％減）となりました。これは、買掛金が63百万円減少したこと等によります。

固定負債は、206百万円（同4.3％減）となりました。これは、長期借入金が9百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、416百万円（同16.5％減）となりました。

（純資産）

純資産合計は、300百万円（前事業年度末比21.3％減）となりました。これは、利益剰余金が91百万円減少したこと等によります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期（通期）の業績予想につきましては、平成24年11月12日付「平成24年9月期 決算短信〔非連結〕」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	184,976	93,759
受取手形及び売掛金	299,432	194,340
商品	32,314	30,563
仕掛品	8,698	30,772
前渡金	85,368	81,062
その他	22,241	34,463
貸倒引当金	△102	△71
流動資産合計	632,930	464,889
固定資産		
有形固定資産	4,441	4,301
無形固定資産		
ソフトウエア	113,876	103,564
その他	6,199	11,390
無形固定資産合計	120,076	114,954
投資その他の資産		
投資有価証券	73,585	84,002
その他	50,258	49,937
貸倒引当金	△949	△949
投資その他の資産合計	122,894	132,991
固定資産合計	247,412	252,247
資産合計	880,342	717,136
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,348	88,884
1年内償還予定の社債	14,200	14,200
1年内返済予定の長期借入金	36,120	36,120
未払法人税等	5,566	1,617
リース債務	1,579	1,592
製品保証引当金	9,434	10,732
その他	63,891	57,135
流動負債合計	283,140	210,282
固定負債		
社債	78,700	78,700
長期借入金	133,480	124,450
リース債務	2,824	2,421
退職給付引当金	996	1,118
固定負債合計	216,000	206,689
負債合計	499,141	416,971

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	949,601	949,601
資本剰余金	92,599	92,599
利益剰余金	△520,872	△612,326
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	409,378	317,925
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△28,177	△17,760
評価・換算差額等合計	△28,177	△17,760
純資産合計	381,201	300,165
負債純資産合計	880,342	717,136

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	373,201	162,475
売上原価	299,101	135,509
売上総利益	74,099	26,965
販売費及び一般管理費	126,489	113,813
営業損失（△）	△52,389	△86,847
営業外収益		
受取利息	1	－
受取配当金	150	150
為替差益	398	－
その他	68	164
営業外収益合計	618	314
営業外費用		
支払利息	1,880	958
為替差損	－	972
支払手数料	11,094	1,773
その他	15	115
営業外費用合計	12,990	3,819
経常損失（△）	△64,761	△90,353
税引前四半期純損失（△）	△64,761	△90,353
法人税、住民税及び事業税	732	1,100
法人税等合計	732	1,100
四半期純損失（△）	△65,494	△91,453

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第１四半期累計期間（自 平成23年10月１日 至 平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	医療画像事業	衛星画像事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	218,231	154,970	373,201	―	373,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	218,231	154,970	373,201	―	373,201
セグメント利益又は損失（△）	1,960	2,346	4,306	△56,696	△52,389

（注）１ 調整額に記載されているセグメント利益又は損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△56,696千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２ セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期累計期間（自 平成24年10月１日 至 平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	医療画像事業	衛星画像事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,306	30,168	162,475	―	162,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	132,306	30,168	162,475	―	162,475
セグメント損失(△)	△29,731	△6,735	△36,467	△50,380	△86,847

（注）１ 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△50,380千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２ セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。